

スクールソーシャルワーカーだより

令和7年12月10日



にじいろ通信

『はじめての100か月の育ちビジョン』について

早いもので、令和7年も残すところあと半月となりました。この1年、自分や身の周りの人にとっていろいろなことがあったかと思います。自分や家族の10大ニュースを考えて、今年を振り返ってみるのも面白いかもしれませんね。

ところで、1年は365日ですが100か月ってどれくらいの年月か想像できますか？母親が妊娠してから生まれた子が小学生になるまでがおおよそ100か月になるそうです。『初めの100か月の育ちビジョン』は、全てのこどもの『初めの100か月』の育ちを社会全体で支えていくために、こども家庭庁を中心とした政府において、令和5年12月に閣議決定されました。乳幼児とかかわる保護者や保育者が子育てにおいて重視し実践している基本的な考え方を、改めて国として言語化したものです。ビジョンの内容は、以下5つの課題にまとめられています。

1. 子どもの権利と尊厳を守る
2. 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
3. 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
4. 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
5. こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

※ウェルビーイング：well=良い、being=状態。つまり「幸せ」

(こども家庭庁 HP 参照)



簡単にまとめると、初めの100か月の子どもたちの豊かな成長をみんなで支えようというメッセージです。乳幼児を育てている保護者は初めての経験や環境の変化で心身ともに大変な時期です。なかなか泣き止まないわが子に周囲の目が気になって焦ったり、思い通りにいかないことばかりで落ち込んでしまったり。

嬉しいことと同時に大変なこともたくさんありますが、子育てを応援したい人は地域にもたくさんいますので、一人で抱え込まないで誰かに話してみてください。自分に合った支援が見つかるかもしれません。

～児童・生徒の皆さんへ～

「初めの100か月」の時期を過ぎた小学生、中学生のみなさんもまだまだ成長途中ですね。保護者以外にも学校の先生をはじめ、たくさんの大人があなたの成長を見守って応援しています。今、チャレンジしてみたいことはありますか？困っていて助けてほしいことはありませんか？勇気をもって、そばにいる信頼できる大人に声をかけてくださいね。一緒に悩んだり考えたりしながら、問題解決を目指しましょう。そして、新年をより良い年にしたいですね。



★★スクールソーシャルワーカーへの相談は下記までご連絡ください★★

保育所・幼稚園・小中学校を通じてご相談いただくこともできます。

■本宮市役所(本庁舎 2 階) 本宮市教育委員会(教育部幼保学校課) 橋本

電話:0243-24-5445

メール:ssw@city.motomiya.lg.jp